



じねん
自然の
こころ

迎春 10
2023.01



(雪化粧の太陽の家)

「自然」とは 全世界 全宇宙の万物はまさに「自ずから然るべく」存在し動き流れているという思想です。自然流の会はその「自ずから然るべくあるがままに」という概念を、日々の生き方、暮らし方の規範として捉え、その生活活動を支える会です。

目次

- 新年のごあいさつ (小林相談役・松永相談役・柳澤理事長)
- 勉強会「自然流健康の家づくりとは？」報告
- 会員インタビュー 「屋根材{瓦}のおはなし」 有限会社山下瓦工業
- エンジェルファームさんより 「夏～秋への写真おたより」
- 2023 年度 役員理事・監事 改選挙のお知らせ
- 編集後記



新年のごあいさつ

相談役 小林康雄

自然流の会関係者の皆様 新年明けましておめでとうございます。

新春を寿ぎ心よりお慶び申し上げます。

新年のスタートに当たりまして、何か一言申し伝えたいのですが、やはり私からは健康に関しての話になってしまうのかなと…。

お陰様で私も昨年で82歳となり益々健康の重要性を感じながら少しずつ衰えて行く身体と共に日々を過ごしております。

「健体康心」、健全な身体に康らかな心。

健康で長生きするために、日本人の先祖様は体と心が一つで人間であると考えたようですね～。



「健体」とは「病気や怪我の功の無い健やかな五体」。

「康心」とは「不安や危険など心配が無く穏やかな心」。

本年も一人でも多くの方々が健体康心となりますように、私共が手がけている「自然流健康の家」が、本当の健康を望んでいる人々に一軒でも多くお届けさせていただく事が出来ますように。そして、会として活発な活動をさせていただけますように。

皆様が健康で、一年の暮らしが過ごせますように心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



自然のこころ 2023年 新春号 への寄稿

相談役 松永末男

2023年の新年を迎えまして心よりお祝い申し上げます。

コロナとの共生生活も4年目を迎え経済活動や日常生活の在り方もいろいろ沢山の学習を積んで参りました。自然流の会も前身(2001年)から数えて23年目を迎えます。

この20数年の間、人が住いに対する考え方(ニーズ)も激変して参りました。また、家づくりに関する豊富な情報や建築技術や材料の発達で、これから住宅を建てようと考えている人が何を第一に優先すればいいのか?について、霧の中から少しずつ晴れ間が見えて来たようになったのではないのでしょうか?



これからの住宅作りに於いて、大手ハウスメーカーの役割、全国の分譲住宅を作るビルダーの役割、自然流の家作りを始めとする選ばれた地域工務店の役割など、役割分担の時代になるのではないかと思います。

今振り返って見れば、選ばれた地域工務店があるべき姿として、当会の創立者である相談役小林康雄氏が唱えた家造りの信念が要望されている時代に入ったのだと感じています。

創立者小林康雄氏が唱える、家は絶対的安全で無ければならないと言う哲学、安全とは「健康に暮らせる場所」・健康とは「病気にならない場所」である事、そして当会の使命は、自宅を建てよう計画されているお客様に安全で健康な家造りの真実を正しくプレゼン出来る知識と技術だと考えています。我田引水のプレゼンは通用しません。お客様第一主義に立った家づくりのプロとして訴える事が重要です。

その上で、お客様がどれを選択するかを委ねると言う考え方こそ、お客さまを最大にリクエストする事だと思います。後でお客様に「そんな家造りが有ったのなら何故初めに教えてくれなかったのですか?」と言われる集団となれるよう、会員一丸となって邁進しましょう!

その先に未来は必ず拓ける事を信じています。

屋根材 {瓦} のおはなし

有限会社 山下瓦工業 山下祐一氏

建物にとって屋根は雨・露を凌ぐ上で必要不可欠である事は言うまでもありません。古く、縄文遺跡などの建物をみると、茅等の植物が使われていたようですが、時を経て粘土を焼いた「瓦」や銅板等金属も使われようになりました。

強度、撥水性、耐熱性に優れた「瓦」は日本では役所などの重な建物に使われるようになり、屋根といえば「瓦」を連想するまでになりました。

今回この「瓦屋根」について、屋根工事では経験豊かな「有限会社山下瓦工業」の山下社長にいろいろお話をお伺いしました。



{瓦の歴史}

瓦が、何時頃、世界の何処で発明されたかは判っていないようです。しかし、日本には西暦 588 年 百濟から仏教と共に伝来したと「日本書紀」に記載されています。以来約 1000 年に渉り使われてきましたが、その殆どは寺院や城郭等で、一般の住いに使われるようになるのは江戸末期です。また寒冷地では粘土瓦は内部の水分が凍結して破損、剥落することが多くあまり普及しなかったようです。



最近新しい素材が開発された事、コスト削減や、阪神淡路震災で瓦屋根は地震に弱いという風評が立った事などにより需要は激減しているようですが、風格や美しさは他に勝る物はなくそれなりの需要は保っているようです。

{瓦とは}

「瓦」といえば粘土で成型し 焼いた陶器のものを指しますが、釉薬をかけたもの、無釉薬のものがあります。近年ではステンレスやガルバニウム等の金属製、セメント製、ガラス製、石製など多様な材料で作られています。

{瓦}の形状と用途

*平瓦 --- 四角形の板を凹方向に湾曲させた 本瓦葺きの瓦

*丸瓦 --- 円筒を盾に割ったような計上の 本瓦葺きの瓦

*棧瓦 --- 平瓦と丸瓦を1枚に併せた形状

(・並棧 --- 右下部に切り込みがある ・切込棧 --- 左上部と右下部に切り込みがある

・引っ掛け棧 --- 切込み棧の裏に瓦棧に引っ掛ける突起がある)

*役瓦 --- 掛瓦---破風の上に蓑甲に葺く瓦

(・袖瓦 --- 蓑甲でない破風上部に葺く瓦 ・軒瓦---軒部分に葺く丸瓦、巴文が描かれることが多い)

*棟瓦 --- 棟の一番上に乗せる瓦

*棟飾 --- 装飾のための瓦 鬼瓦に代表される



「屋根材」に求められる機能と瓦

求められる機能は言う迄もなく

★耐水性 ★耐久性 ★耐震性 ★断熱性 ★遮音性 ★施工性
★美観 ★コスト 等に集約されます。

{瓦}の メリット

**瓦は上記の機能を多く備えた屋根材
といえます。**

- * 耐用年数が長い(コロニアルの約 5 倍)
- * 断熱性に優れている---夏涼しく冬温かい
- * 結露がしない---瓦の施工は棧に掛けていくが、瓦の厚みと形状で、空気の層ができるので、結露がしない
- * 色褪せしないので、長く美しい屋根となる(表面がガラス質)
- * 遮音性に優れている
- * 部分的補修が可能
- * 装飾性に優れ、美しいシルエットを描く

{瓦}のデメリット

- * イニシャルコストが高い(耐久性等を考えると結構安価かも)
- * 屋根の重量が重くなる
- * 施工が高度な熟練度を要するため、技術者が育たない

【取材・文責:佐原榮子】



(有)山下瓦工業 山下祐一氏

有限会社 山下瓦工業

自然流の会 会員

(株)小林住宅工業 翠光会 会長

お問合せ:042-771-3324

新年に寄せて



理事長 柳澤泰博



新春のお喜びを申し上げます

さてしかし、新年のご挨拶にはふさわしくないかもしれませんが、昨今の世界情勢、社会情勢、国家政策、などなど何かキナ臭くなっているように思えるのは私だけでしょうか？これからの世の中の動向を注意深く見ながら、きちんと見据え考えた判断行動がますます必要になると思います。

そして「自然流の会」の活動理念がその一つの指針になればと深く思います。

本年も「自然流の会」をどうぞよろしく願い申し上げます。

『自然流健康の家づくりとは？』勉強会 ご報告

2022年10月1日（土）に約2年ぶりの勉強会を、(株)小林住宅工業レジリエンス住宅にて開催しました。

コロナ禍もあり、講演会および勉強会の開催をどのようにしていくか、理事会でも検討を重ね、今回は、WEB参加（オンライン）と会場との、同時開催形式となりました。

第1部は柳澤理事長による「自然流健康の家づくりに至る経緯」と題し、私たちが「家づくり」をするにあたり、大切にしている考え方などを、資料と画像を交えながら、ひとつひとつ丁寧にお話くださいました。

休憩を挟み、第2部は小林相談役による「今だから大切な「自然」の理念^{しぜん}」についてのお話を、柳澤理事長と対談形式にて行いました。相談役が現在に至るまで、「家づくり」において大切にしてきたことや、「自然」に対する考え方などのお話会となりました。第3部は会場参加の方へレジリエンス機能を備えた「自然流の家」の見学会を行いました。



まだまだコロナ禍が続く中、当会が発信していくべき「自然流」の方向性を改めて考えるきっかけとなりました。今後、建築分野に限らず、幅広い分野の方々にも当会にご参加いただきたいと思います。

現在、事務局では、会員のみならず、「講演会および勉強会」のテーマを募集しております。建築分野をはじめ、健康に関すること、生活に関すること、自然（農業、林業など）に関することなど多分野でのお話を、とも考えております。みなさまのご提案お待ちしております。

【報告：小林栄利子】

「太陽の家」とエンジェルファームさんからのおたより

2022年初秋。当会会員のエンジェルファームさんより、お写真の便りが届きました！

昨年たくさんの品種の安心・安全な美味しいリンゴを届けてくださいました。

そして夏には、小林相談役と「太陽の家」にて久々のご対面☆

小林相談役と一緒に楽しいお時間をお過ごしになられたとのこと。

エンジェルファームさんお便りありがとうございました！



長野県 3兄弟+王林
(シナノスイート、シナノゴールド、秋映)



小林相談役、エンジェルファーム越川さん
「太陽の家」館長・小林三喜さんと



「太陽の家」の草刈りも
お手伝いくださいました！



【理事・監事 選挙のお知らせ】

2023年5月の総会をもちまして、理事・監事の任期満了(任期2年)を迎えます。

それに伴い、総会にて、理事・監事の改選挙を行います。

詳細は、次号会報(3月発行予定)にてお知らせをいたします。

自薦、他薦は問いません。会の運営にご尽力いただける会員さんを募集いたします。

お問合せ、ご質問は事務局まで！みなさまのご参加お待ちしております。

編集後記

明けましておめでとうございます。

寅から兎へ新しい年が始まりました。

寅がコロナウイルスを退治してくれることを祈った昨年でしたが叶わず、

ウクライナではロシアの虎が大暴れする状況が続いています。

今年こそ、あの「因幡の白兎」のように傷ついた人々が穂綿に包まれ、癒される年になって

ほしいと思います。「自然流」の理念は蒲の穂綿のように、自然と共に優しく生き、助け合う事でもあ

ります。今年もこの理念を訴え続けていきたいと思います。【佐原榮子】

